

高畠高生の活躍

山形新聞にある「若者の声」に、本校 1 年次生の鈴木美尋さんの文章が掲載されました。科目「現代の国語」の授業で培った文章表現に関する学習の成果が十分にあらわれた内容となっています。



まず、復旧作業に時間を要している原因として、半島という地形的な特性や半島のライフラインが脆弱なことが挙げられる。ガスや電気、断水はほとんどの地域が復旧しているが、道路はまだ片側通行の場所が多く、各地で渋滞が頻発している。これが、資材の運搬、工事車両や人員の移動を妨げ、復旧作業を滞らせる大きな原因になっている。

2024年元日に起きた能登半島地震による被害は大きかった。元通りに復旧・復興することが困難だったり、作業に時間がかかったりしている。課題は何だろう。

若者の声 高畠高 遠い地でもできる支援を

■ 1年 鈴木美尋

る。この地震で、人口減少や高齢化、交通インフラや病院、学校などの格差が顕在化した。震災前と同じ規模のまちを再建することや、移住者を増やしていくことは容易にできることで

はない。

被災者の中には、終わらない避難生活を送っている人もいる。避難生活によるストレスで、元氣のない人もいると思う。震災前と全く同じまちには戻れなくても、少しでも早く避難生活が終わるように被災者や支援者が励まし合って、少しずつ復旧作業や復興に向けた取り組みを進めることが大切だと思う。

今回の能登半島地震で、つらく大変な思いをされている方々がたくさんいる。私たちにできることは限られているが、被災地から遠い場所に住んでいても募金などを通して支援することが大切だ。

令和7年1月15日(水)「山形新聞」から